

令和7年度 第69回日本読書学会大会プログラム

日程：2025年9月21日（日）

〈9:30〜〉受付

〈10:00〜12:00〉個人研究発表 第一会場（504）／第二会場（中ホール（502+503））

〈12:10〜13:10〉理事会（504）

〈13:20〜14:00〉総会（中ホール（502+503））

〈14:00〜14:30〉表彰式（中ホール（502+503））

〈14:40〜16:40〉個人研究発表 第一会場（504）／第二会場（中ホール（502+503））

〈17:00〜18:30〉懇親会（502）

*懇親会費（一般3,000円、学生2,000円）は、懇親会会場にて現金でお支払いください。

場所：林野会館（東京都文京区大塚3丁目28番7号 電話03-3945-6871）

*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩7分、筑波大学附属小学校正門近く

参加費：正会員（一般）4,000円、正会員（学生）3,000円

臨時会員（一般）5,000円、臨時会員（学生）4,000円

*発表及び参加は全て事前申込制であり、当日の参加申込は受けつけません。

*研究大会に参加される方は、発表者以外の方も必ず事前の申し込みをお願いいたします。



参加申込締切： 2025年9月5日（金）

参加費納入締切： 2025年9月5日（金）

*参加費は **9月5日**までに納入してください。会場での払込はできません。

*発表要旨集はPDFデータで作成し、参加費をお支払いいただいた方のみへの公開とさせていただきます。

大会実行委員会

実行委員長：上谷順三郎（鹿児島大学）

副実行委員長：福田由紀（法政大学）

実行委員：足立幸子（新潟大学）・平山祐一郎（東京家政大学）・勘米良祐太（武蔵野大学）

事務局長：深谷優子（國學院大学）

大会関連のお問い合わせは日本読書学会事務局まで。



*（発表者）個人研究発表は、15分発表、10分質疑応答、計25分です。

*（発表者）配布資料がある場合、各会場入口付近のテーブルに置いてください。

*（発表者）投影資料がある場合、開始前に接続の確認を行ってください。

*（発表者）発表する研究は、倫理的な問題がないことが前提となります。研究発表では、個人や所属組織等、または特定の商品などの宣伝は慎んでください。

*（参加者）研究発表の映像や資料の撮影・録画・録音は原則禁止です。

*（参加者）質疑応答では、質問者はお名前とご所属を述べてからご質問ください。

<10:00~12:00> 個人研究発表 (A1) 第1会場 (504)

司会：勝田光 (筑波大学) ・石田喜美 (横浜国立大学)

- A1-1 平和を「創造」する時代に戦争児童文学を教室で読み合う意義
—「たずねびと」の学習からの考察—

岩崎直哉 (富山国際大学)

- A1-2 学習者の読みを起点に、主体的・探究的に読む国語授業の創造
～「わすれられないおくりもの」を題材に～

長屋樹廣 (北海道教育大学釧路校)

- A1-3 カンファレンスの展開を促す聞き手の発話についての事例分析

加藤好広 (愛知県立東浦高等学校)

- A1-4 小学校国語教科書における〈病気〉という題材—現行教科書を対象として—

吉岡尚孝 (関西福祉科学大学)

<10:00~12:00> 個人研究発表 (A2) 第2会場 (中ホール (502+503))

司会：井関龍太 (大正大学) ・奥泉香 (東京学芸大学)

- A2-1 知識の質的理解が読解に及ぼす影響の考察

山本純慈 (東京農業大学第一高等学校) ・篠崎祐介 (東京学芸大学)

- A2-2 小学5年生の読書行為は文の組み立てに対する認識と理解とどのように関係しているのか：国際バカロレア教育認定校(PYP)における教科横断的な探究学習で行われる重文と複文の読み取りに着目して

新居池津子 (清泉女子大学)

- A2-3 幼児期の絵本の読み聞かせが非認知能力に及ぼす影響：保育者の認識の分析

魏旭童 (学習院大学)

- A2-4 中国の絵本読書文化と絵本館の展開 —老約翰絵本館を事例として—

劉娟 (明治学院大学)

<12:10~13:10> 理事会 (504)

<13:20~14:00> 総会 (中ホール (502+503))

<14:00~14:30> 表彰式 (中ホール (502+503))

*受賞者の研究紹介も行われます。

〈14:40～16:40〉 個人研究発表 (P1) 第1会場 (504)

司会：荷方邦夫 (金沢美術工芸大学) ・長田友紀 (筑波大学)

PI-1 小・中・高等学校国語教科書にみる物語創作指導

—領域設定に着目した分析および今後の展望—

石原雅子 (関西外国語大学) ・長田友紀 (筑波大学)

PI-2 時枝誠記「言語過程説」において「国語教育」が意味するものとは何か

—「惚れさせない／惚れさせる国語教育」という視座から—

但馬徹哉 (正則高等学校)

PI-3 上澤謙二のおはなしにみる幼児教育観に関する一考察

—『新幼児ばなし三百六十五日』の「目的と取扱方」に着目して—

片山伸子 (名古屋柳城女子大学) ・村田あゆみ (名古屋葵大学)

・山本聡子 (名古屋柳城女子大学)

PI-4 「教養主義」衰退後の大学生読書文化：教養意識との関連性からみる変化と現在

桜井政成 (立命館大学)

〈14:40～16:40〉 個人研究発表 (P2) 第2会場 (中ホール (502+503))

司会：足立幸子 (新潟大学) ・深谷優子 (國學院大学)

P2-1 読み聞かせから自主読書への階梯的読書指導法

—学校・学校図書館における読書活動としての共有読書 (shared reading) の提案—

足立幸子 (新潟大学)

P2-2 読書へのアニメーション実践における楽しさの研究—小学校低学年の実践に注目して—

青柳啓子 (甲州市立勝沼図書館)

P2-3 小学校低学年の言語活動の実態と指導法の検討

堀田千絵 (京都市立芸術大学)

P2-4 幼児期の読み聞かせから、児童期のひとり読み移行期における読書指導

—子育て支援活動の実践を媒介として—

星野美穂子 (和洋女子大学)

〈17:00～18:30〉 懇親会 (502)